

SHINOBI-TRAIN

柘植駅にて歓迎式開催

柘植地域

まちづくりだより

第184号

2月25日(土)、午前10時58分、忍者の絵柄をラッピングした特別列車「SHINOBI・TRAIN」(しのび・とれいん)4両が柘植駅に到着しました。

柘植地域まちづくり協議会の「柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員会」で、この一カ月の間に計画したイベントが駅構内外で繰り広げられ、関係者約50名が盛大に柘植地域をPRし、おもてなしをしました。

草津駅より乗車してきた伊賀市の岡本栄市長ならびに滋賀県の三日月大造知事から、「この列車運行を通じて、三重県と滋賀県、草津線沿線の自治体間がますます仲良くなって、さまざま

な取り組みを進めよう」と、ホームにいた乗降客や関係者を前にあいさつがありました。

また地元の森岡昭二議員からも、「歴史ある柘植駅や柘植地域を活性化していく起爆剤として草津線を活かしていきたい」とのメッセージをいただきました。

その後、都美恵太鼓の演奏、柘植保育園の先生方によるパフォーマンスと続き、集まったたくさんのおちびっこたちや関係者たちに、柘植の魅力を感じていただくことができました。

この10月9日実施予定の第15回「伊賀の国柘植の斎王群行」のPRとして、あけぼの学園の高校生たちも斎王姿や白丁姿に扮し、特別列車を背景に、駆け付けた鉄道ファンや乗降客と記念写真を撮っていました。

この取り組みは草津線の期成同盟会などがプロジェクトチームとなって話が進んでいきましたが、なかなか詳細が明らかにされないまま時間が過ぎてい

ました。柘植地域まちづくり協議会から何度も働きかけをすることで、伊賀市行政(交通政策課・観光戦略課)やJR亀山鉄道部等とも打ち合わせが進み、当日を迎えるというあわただしい中でのイベントでした。



待合室での特別展示(柘植駅の歴史、斎王群行、松尾芭蕉、横光利一、ひな人形ほか)や駅前の『中村屋』での復刻弁当販売や小杉特産のモロヘイヤ関連商品の販売も実施しました。(4ページ参照)

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 二〇一七(平成)二十九年三月一日(水)
電話 四五―八八八〇 FAX 四五―八八八三
〒五二九―四〇二二

★柘植地域内12か所にカラー版設置中です

柘植地域俳句コーナー
春夕日
雀沈める
大樗
北田美智代

柘植駅の美化を ボランティアの手で

柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員会の

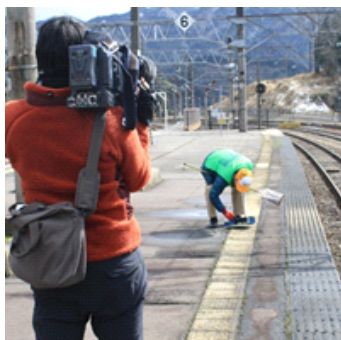
2月21日(火)午後、25日の記念イベントを4日後に控え、JR亀山鉄道部のご協力と伊賀市交通政策課の支援をいただいで、当実行委員会が呼びかけたボランティア27名が柘植駅に集合。駅舎内の壁面掃除や窓ふきなどを列車のいない30分間に限って実施しました。



昨年秋には、駅前でのイルミネーションを充実させることで、冬場、寒く寂しかった駅前もにぎやかになり、乗降客から好評をいただいています。(ちなみに、3月下旬に取り外す予定です。)また案内板下のかわいい花たちも元気に育っています。(3月下旬に春の花に換える予定です。)

風雪により汚れた窓も、日頃の職員の方の掃除に加え、今回の美化作業によって、透き通るようになりきれいになりました。

下の写真は伊賀ケーブルテレビが美化作業取材している様子です。



今年度、駅舎内には伊賀市行政による**忍者人形の設置**や**多言語案内板の設置**、JR西日本による**男女別トイレの設置**(現在工事中)など、ターミナル駅としての役割を担うにぎやかな道具がそろってきました(既報)。

こうした動きとともに、柘植駅を地元住民である私たちが利活用し、地域の宝として守っていききたいものです。

★★★事務局だより★★★

▼年度末が近づいてきました。今年の冬は雪が多くびっくりしましたが、日差しは春を感じますね。▼今号の記事は、ほとんどが「SHINOBI・TRAIN」関連となりました。事務局もその準備に関係機関との連絡連携などいつも以上に忙しい状態でした。▼新聞各紙の2月26日報道により、「草津線」や「柘植駅」が一気にメジャーになりました。当日は、遠くは千葉から復刻駅弁を楽しみに来られた方もいるとか。▼イベントの冒頭では、岡本伊賀市長と三日月滋賀県知事から氣勢の上がるあいさつがありました。草津線車内で二人はいい話ができたのかもしれないね。よいつながりは大きな推進力です。▼ところで日頃、柘植駅では駅業務に3人の方がローテーションを組んで携わっておられます。柘植駅を維持していくためにも、切符や定期券は柘植駅の窓口で購入することが実績づくりとしても大切です。▼話は少し変わりますが、2月8日夜、伊賀支所で公共交通活性化再生協議会がまち部会が開催されました。行政サービス巡回車の運行・利用実態をふまえるところまで来た状況のようです。▼そうした実態は、まち協事務局から見ると、行政と住民との意識に大きな差があるとみています。▼行政はもちろんまち協も住民への発信を強化し伝えることが重要。加えて各区での受け皿づくりも必要。まち協はその間に入って、地域にとってよりバタナ「選択」をしていくための機関です。▼各種組織メンバーの切り替わる年度末。事務局としては正確な実態把握の上で将来を見据えた引継ぎをしてくださることを願っています。(西田方計)

列車到着記念イベント

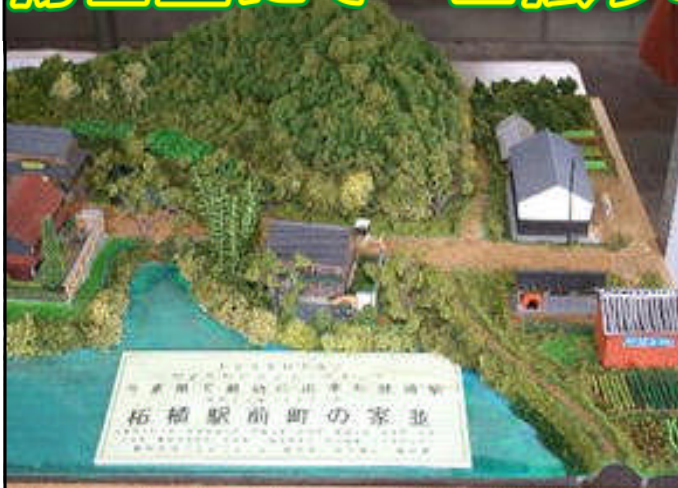


ようこそ、柘植地域へと書いた黄色い横断幕を背に、まずは都美恵太鼓の演奏でおもてなしをしました。(←左写真)

続いて、柘植保育園の先生方4人による「勇気100% (アニメ 忍たま乱太郎)」の歌とダンスで柘植地域をアピール(右写真→)

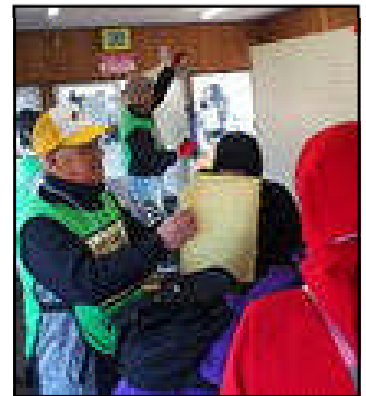


待合室にて一日限りの特別展示会を開催



昔の柘植駅のコーナーに展示した「ジオラマ」、普段は柘植歴史民俗資料館にあります。

「柘植駅を訪れる方々に柘植の魅力に触れつつおうちと、「芭蕉」「横光」「斎王」の紹介をしました。



↑当日朝、急ピッチでボードを持ち込み、組み立てての展示。安全第一と乗降客最優先で取り組みました。

県境を魅力・メリットに!

駅前中村屋の復刻駅弁、小杉モロヘイヤ商品販売

天候に恵まれたこともあり、駅前の中村屋の店先に、伊賀のみやげものが並びました。



午後、約160名のバスツアー客が駅前に到着。15:20の列車出発まで、おもてなしができました。



↑ 齋王群行もPR

→ 伊賀市ゆるキャラ
にん太としのぶ



↑ 岡本市長(左)と男女の忍者に囲まれる三日月大造滋賀県知事

